

2022年、外食・中食で炭酸飲料の食機会数は前年同期比10%増

50代以上の利用が増加

<外食・中食 調査レポート>

2023年4月11日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

外食・中食市場情報サービス『CREST@*1』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、クリストス・クリストフォロー代表）は、外食・中食市場における飲料動向分析レポートを2023年4月11日に公表します。

本分析レポートでは大きく以下のことが分かります。2022年2月-2023年1月計の外食・中食市場における主な飲料の中、最も回復が進んだのは炭酸飲料で、食機会数前年同期比10%増、2019年同期比5%減でした。炭酸飲料の飲用は50代以上で増加しました。

炭酸飲料の食機会数が前年同期比10%増、最も回復が速い

2022年2月-2023年1月にソフトドリンクが飲まれた食機会数（図表1）は、前年同期比1%増、コロナ前2019年同期比で9%減でした。炭酸飲料が飲まれた食機会数の前年同期比は10%増、コロナ前比では5%減と、他のソフトドリンクと比べ最も回復が進んでいます。ジュースは前年同期比5%増も、コロナ前比で19%減、コーヒーは前年同期比横ばい、コロナ前比14%減でした。

<図表1> 外食・中食全体 主な飲み物別 食機会数増減% 2022年2月-2023年1月

■ 前年同期比（2021年2月-2022年1月比） ■ 2019年同期比（2019年2月-2020年1月比）



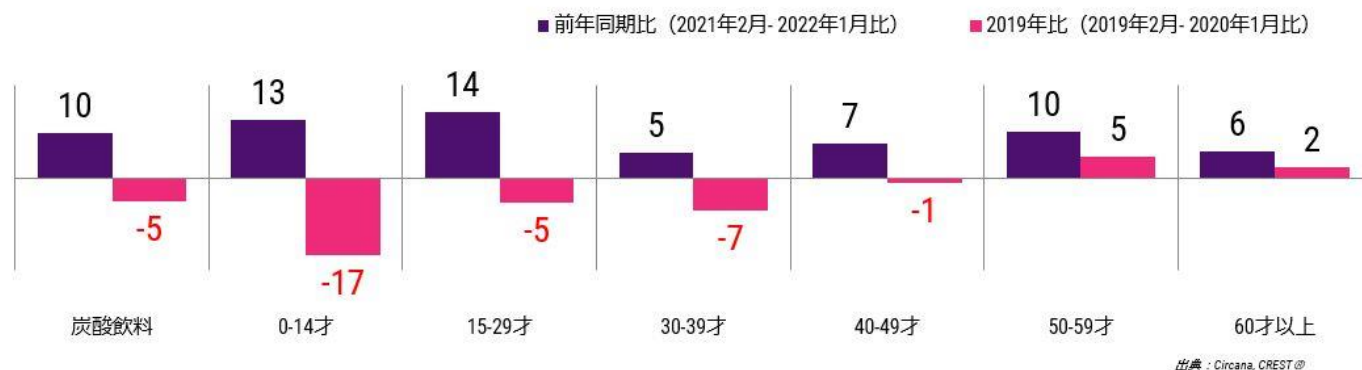
出典：Circana, CREST®

炭酸飲料の飲用は 50 代以上で増加

炭酸飲料が飲まれた食機会について、年代別に増減をみると（図表 2）、40 代は 2019 年同期比 1%減、50 代では同 5%増、60 才以上は同 2%増でした。炭酸飲料全体の同 5%減と比べ、40 代以上でコロナ前と比べ回復が進んでいることがわかります。一方、0-14 才の子供は 17%減で、全体 5%より 12 ポイントも下回りました。

炭酸飲料が飲まれた食機会

<図表2> 外食・中食全体 年代別 食機会数増減% 2022年2月-2023年1月



エヌピーディー・ジャパン フードサービスシニアアナリストである、東さやか（あずま・さやか）は、「ソフトドリンクの飲用機会の戻りが鈍い中、比較的回復が早い炭酸飲料は注目であり、またコロナ前より増加した 50 代以上の飲用層は一つのオポチュニティと言えるでしょう。特に、ダイエット、ノンカロリー、ゼロなどが好調で、これら定番の品揃えに加え、間食機会にほっと一息リフレッシュメント効果が望めるものや、食事とも気軽に合わせられるような、大人向け炭酸飲料の提供や、またフードとの組み合わせも含めた新たな食事スタイルの提案などが、これまで以上に重要なカギとなってくるでしょう。」と話します。

*1 CREST®

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを 1 年 365 日、消費者から収集し、年間 13 万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界 13 か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com

■会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000円

株主 The Circana Group Inc. (100%)

代表者 クリストス・クリストフォロー

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会